

(正面・中)

坊っちゃんま?

まだ起きていらっしやったのですか?

もう夜も遅いですし、早くお眠りになられた方がよろしいかと…。

…ああ、いえ、なんでもありません。

…坊っちゃんま。

私は貴方様のメイドでございます。

なにか苦しいことや辛いことがあったのなら、遠慮なく仰ってください。

…言いたくない…ですか…。

…では、こうする他にありませんね。

申し訳ありません。失礼いたします。

(右・密着・有声音囁き)

むぎゅ〜…♡

…どうですか、坊っちゃんま。

坊っちゃんま専属メイド、ナザリーの乳肉の心地はいかがでしょうか。

大きいだけで取り柄などないと思っていたこの乳肉も、坊っちゃんまのお役に立てるのであればこれほど嬉しいことはありません。

…坊っちゃんま。

よしよし…♡

よく頑張りましたね、えらいえらい…♡

毎日毎日、お勉強や次期ご当主としての振る舞いを求められる日々…さぞお辛かったことでしょう。

…辛くなった時は、遠慮することなくいつでも私を頼って下さいませ。

私に出来ることであれば、何でも致します。

よしよし…うふふ…♡

坊っちゃんま…一体何があったのか、どうかナザリーに教えてくださいませ…。

今日の坊っちゃんま、いつもより数段お辛そうです…。

話すことで、少しは楽になると思いますから…ね?

(正面・近)

…うん…うん…そうだったのですね…。

坊っちゃんまは、ずっとずっと頑張っていたのに…周りの大人たちは皆、坊っちゃんまのことを悪く言うばかりで、認めてくれなかったのですか…。

本来は年相応に遊びたかったはずなのに、それも我慢して毎日毎日ひたすらに頑張っても、いくら努力しても誰も褒めてくれなくて…。
坊っちゃん…。

よしよし…坊っちゃんまの頑張りは、ナザリーが全て分かっていますよ。
さぞ、苦しかったことでしょう…！

お辛かったことでしょう…！
…ひどいですね。

みんなみーんな坊っちゃんまのことをいじめてばかりで…。

こんなにも優しく、頑張り屋さんのいい子だというのに…。

大丈夫ですよ。

ナザリーはどんな時だって、坊っちゃんまの味方です。

ほうら、今まで褒められなかったぶん、ナザリーが坊っちゃんまをたくさん褒めて、甘やかして差上げます…！

坊っちゃんま…何か私にして欲しいことは、ありますか？

…うん？

なんですか、坊っちゃんま…。

もう一度、仰ってください…。

え…助けて？

今、助けてと、そうおっしゃいましたか…？

ッ、それは…。

ナザリーに、この状況から助けて欲しいと、そう言いたいのですか…？

ああ、坊っちゃんま…！

…はい、かしまりました。

逃げて…しましましょうか。

どこか遠いところに、二人で逃げてしまうのです。

そして、二人つきりで静かに暮らしていくのです。

贅沢な暮らしは出来ませんが…私にはそれなりの蓄えもありますし…二人で慎ましく暮らすことには問題ありません。

坊っちゃんま…坊っちゃんまは、どうされたいですか？

坊っちゃんまをいじめる大人が沢山いる屋敷か、遠い場所にある小さな家で、私と共に暮らすか…どちらか好きな方を選んでください。

…そうですか。

かしまりました。それでは、一緒に行きましょか。

…あら？

坊っちゃんま…泣いていらっしやるのですか？

…ふふ、そうですか♡

そんなに、嬉しかったのですね…♡
ナザリーも、そんなに喜んで貰えると、とても嬉しくなっています♡
坊っちゃん…ん…よい、しょ…♡
そのまま、私の胸に抱きついていて下さいませ…。
ゆるらゆら、よしよし…さあ、共に行きましょう…♡
坊っちゃん私との、遠い遠い理想郷へ…♡

*

(正面・中)

…ああ、ようやく起きられましたか。
おはようございます、坊っちゃん。
ここが、どこですか？
ふふ、馬車の中でございますよ。
昨晚遅くにお屋敷を抜け出した私たちは、夜のうちにこの馬車に乗り、出発しました。
今は、日が頂点に達する頃合いでしょうか。
…私たちの、行先？
それは…秘密です。
坊っちゃんは知らなくても良いことですよ。ナザリーにお任せ下さい。
そんなことより…坊っちゃん。
そろそろお腹が空く時間ではありませんか？

(SE:お腹の音)

…ふふ♡坊っちゃんのお腹は正直ですね。
もうしばらくしたら、中継地点の港町に着きます。
美味しいお魚料理や見たことの無い料理がいっぱいあるはずですよ。きっと気に言って貰えると思いますよ。
それまでは…そうですね。外の風景を見ながら、お菓子を食べて、お茶を飲みましょう。
さあ、こっちに来てくださいませ。
私のおひざの上は、坊っちゃん専用の特等席でございます♡
暫しの間、ナザリーのおひざの上で、どうぞごゆるりと…ふふふふ♡

*

よい、しょっと。

ようやく到着いたしました。

ここが中継地点の港町になります。

ここから船に乗って、しばらく西の方角に進むとある島が見えてきます。そこまで行けば、目的地までもう少しです。

きつと長旅になるでしょうから、今日はゆっくり休んで明日に備えましょう。

さあ、こちらへどうぞ。

宿屋へご案内いたします。

*

…さ、ここが今日の寝床となります。

…うん？

どうしてベッドがひとつしかないのか、ですか？

…残念ながら、ほかのお部屋は皆満室で、このお部屋しか空いていなかったのですが、問題はありません。

私は床で眠りますので、坊っちゃんまは遠慮せずにベッドでお眠り下さい。

…いやだ？

ん…嫌とおっしゃられても、同じベッドで眠る訳にもいきませんし…。

…別に、構わない？

ナザリーが硬い床の上で寝る方が嫌だ…ですか。

…ふふ、やはりお優しいですね、坊っちゃんは。

では、お言葉に甘えて、今宵は共に眠ることにいたしましたしょう。

…そうだ。

私は少し買うものがありますので、出掛けてきます。

迷子になると大変ですから、坊っちゃんまはここで待っていてくださいね。

…もう、そんなに不安そうな顔をしなくて下さいませ。すぐに戻ってきますよ。

それでは、行ってまいります。

*

坊っちゃんま、大変お待たせいたしました…って、きやつ！

(正面・近)

…ぼ、坊っちゃんま…どうされたのですか？

そんな、泣きそうな顔をして、抱きついてきて…。

え…ナザリーがいなくなつて、寂しかった…？

戻ってこなかったらどうしようと思ったから…って。

…ごめんなさい、坊っちゃん。

そうですね…。

一人で見知らぬ場所に放り込まれて…心細かったですよね…。

本当に…申し訳ありません。

…あの、坊っちゃん。

お詫びと言ってはなんなのですが…。

これを、お渡しいたします。

…ふふ、そう、真つ赤な宝石のついた指輪でございます。

この指輪はですね…実は、魔法の指輪なんです。

坊っちゃんとなザリーを繋ぐ、特別な指輪…。

ほら…対になるように、なザリーも青い宝石のついた指輪をはめています。

坊っちゃん…さあ、指輪をはめてみてくださいませ…！

…ああ…よくお似合いですよ、坊っちゃん…♡

このふたつの指輪にはめられている赤と青の宝石は、互いに引かれ合う性質を持つのです。同じ結晶から生まれた二つの宝石は、分かれた後もなお共に寄り添う運命にある…。

だから、たとえ坊っちゃんとなが私と私とがどれだけ離れても…指輪同士の引力に導かれるように、必ず再び巡り会うことが出来るのです。

ですから…ね？

この指輪さえあれば、いつでもどこでも、私達は一緒にございますよ…♡

噂によると、サクユバスと人間が婚姻を結ぶ時にも、これを使うのだとか…♡

禁じられた恋だと断罪されその仲を引き裂かれようとも、引かれあい、再びひとつとなる…。

共にあろうとする想いの象徴…それがこの指輪なのです…♡

だから…どうか不安に思わないでくださいませ。

たとえ誰かが私たちを別れさせても、この指輪が私達を結びつけてくれますから…♡

…さあ、そろそろ食事にしませんか？ 坊っちゃんが好きそうなものたくさん買ってきたのです。

いっぱい食べて、英気を養いましょう。

ふふふ…♡

*

(左・やや密着・有声音囁き)

坊っちゃん…もう眠ってしまったか？

…ふふ。何度見ても可愛い寝顔ですね。

ずっと見ていても飽きないくらいです。

(SE:布擦れ音)

ん、あう…もう、坊っちゃんま…!!♡

本当に眠っているのですか…?♡

眠りながら、そんなに強く抱きついてきて…もう、しょうがないですね…♡

よしよし…♡

ふふ…やっぱりまだ、子どもですね。

こんな風に抱きしめているだけで、安心して、すやすやと寝息を立てて…。

ああ…坊っちゃんま…♡

私の、私だけの、坊っちゃんま…♡

ん…あら？

ぼ…坊っちゃんま？

私の太ももに…何か、固いものが当たっているような気がするのですが…♡

ああ…これは、いけませんね。

無意識のうちに、身体が反応してしまうなんて…♡

ごくっ…はあ…はあ…♡

イケない子ですね…♡

私が、坊っちゃんまにどんな思いを抱いているのかも知らないで、いつも私に無邪気に甘えてきて…♡

それが嬉しくて、愛おしくて…♡

ナザリーは、何度坊っちゃんまのことを押し倒したくなったことか…♡

でも…やっぱりそれは出来ないことでした。

だって…私は使用人で、ただのメイドでしたから。

決して許されない想いを表に出してしまえば、私はきっと、本能を抑えられなくなる。

…ですが、こんな可愛らしいおちんちんを押し付けられてしまえば…もう、たまりません…!!♡

(左・密着・有声音囁き)

はあ…はあ…坊っちゃんま…坊っちゃんま…♡大好きです…坊っちゃんま…♡好きです…好き

…♡大好きなんです…坊っちゃんまが…♡

すき、すき、すき…♡坊っちゃんま、坊っちゃんま…♡ふう…ふう…♡

(オナニー開始)

んくうっ…すごい…こんなにも、おびただしく濡れて…♡ああ…っ！♡下着越しに触るだけでもっ…くうっ…気持ち、いい…っ！♡

ああ…っ♡坊っちゃんま…坊っちゃんま…♡はあ…はあ…坊っちゃんま…♡ん、ちゅ…れろお…♡んむ…ちゅう…♡

(左耳舐め15秒)

ぷは…♡

んう…さわって…さわってえ…♡

坊っちゃんま…ナザリーのおまんこを、直接、坊っちゃんまの細くて小さな指先で…ぐちゃぐちゃにしてっ、くださいませ…っ！♡

も、もう我慢できません…坊っちゃんま、お手をお借りしますね…？♡

あっ…♡これ、しゅごい…♡

直接、触れると、こんなに…♡ああ…っ！♡きもち、い…っ♡ああ…っ！♡

(喘ぎ声 20秒)

だめ、ダメです、そんな激しくしたら…！♡

お汗が止まらないです…！♡

と、止めなきや…！♡

お、お潮を、吹いてしまいますから…！♡

だ、駄目です…坊っちゃんまのゆび、きもちよすぎて…とめられな…♡

おまんこ、坊っちゃんまの指を締め付けて…んう…♡

いく、イッチャいますっ…ナザリーのおまんこ、イカされちゃう…♡

ああっ、いく、イクイクイクイク…いつ、ぐ…っ！…♡

(絶頂)

あ、あ…♡

坊っちゃんま…♡

見て下さいませ…ナザリーが今、どれだけ恥ずかしい姿をしているか…♡

こんなにも、お潮を、お漏らして…♡

はあ…はあ…はあ…♡あ、ああ…♡お、お手々がべとべとになってしまいましたね…♡申し訳ありません、すぐに綺麗にいたしますので…はあ…はあ…♡

(指舐め)

んちゅっ、ちゅずずずっ…じゅずぞぞっ…♡
れるれるろろ…んふ、んふふ…♡
ほっひやまのへにふいひやおひるを…じゅるるるっ…♡
ふはあ…♡

(正面・密着・有声音囁き)

…はあ…はあ…♡
すきい…♡坊っちゃま、だいすきです…♡あいします…♡んふふふ…♡
さて…それでは…。

次は、坊っちゃまの番ですね…？♡
たっくさん気持ちよくしてくれたお礼に…ふふ♡
坊っちゃまの硬くなったおちんちん、お手手でいっぱい可愛がってあげますからね…♡
さあ、ズボンを下ろして…っと。

ああ…すてき…ご立派です…♡んふふ…♡もうこんなにカチカチになって…♡
お風呂に入れて差し上げる時にたびたび目にしておりましたが…こおんなに立派にお勃
起なされている姿は初めて見ました♡

…つんつん♡

あらあら…少し触れただけで、ぴくんって跳ね上がって…ふふふ♡可愛いです♡
それでは、あまり焦らしても可哀想なので…早速始めましょうか♡
ナザリーのおてておまんこで、坊っちゃまの立派なおちんちんを包み込んで…♡
そのまま上下に擦り上げて、沢山気持ち良くしてさしあげます…♡

(手コキ開始)

ほおら…しこしこ…しこしこ…♡
どうですか、坊っちゃま…？♡私のおてておまんこの感触は…♡
柔らかくて、あったかくて、気持ちいいでしょう…？♡
ふふ…素直なおちんちんですね♡
先端から透明なお汁がどんどん溢れてきますよ…？♡
えっちです…坊っちゃまは♡
お顔もそんなに蕩けさせて…どんな夢を見ているんでしょうか…？♡
夢の中でもナザリーと一緒にいるのなら、嬉しいですね…ふふ♡
ん、しょ…ん、しょ…♡
ああ…すごい…ビクビク震えながら脈打って…ふふふ♡

ナザリーの手でこんなにも感じてくれてるなんて…とても幸せです♡
でも、もっともーっと気持ちよくなって欲しいので…今度は坊っちゃんまの弱点を探させてもらいますね？♡

おちんちんの裏側に指を這わせて…ゆっくり下からなぞって、っーっ…♡
…っ♡

また、大きくなりました…♡ここがいいんですか？♡

カリ首…弱いんですね♡では、そこを集中的に責めていきますね…♡

ほおら…親指と人差し指できつうい輪っかを作ってえ…一気に、ちゅこちゅこちゅこちゅこ…♡

んふふ…腰、浮いてきちゃいましたね♡

あつ、んっ♡って可愛い声も漏れて…♡

お口も開きっぱなしで、だらしないですよ？♡もっとしっかり閉じないと、お口からヨダレが…♡

ああ…もったいない…♡

(キス10秒)

んむ…ちゅるるるっ…じゅぞっ…♡

ぷはあ…♡

んふふ…坊っちゃんまのヨダレ、美味しいです♡

それにしても…ふふ、カリ首責められるの、そんなに気持ちいいんですか？♡

こんなに先走りのお汁をダラダラ垂らしてしまっ…あらあら、このままじゃすぐイってしまいそうですね…？♡

ん…かわいそうなので、今度はまーったりとした手の動きに変えてあげますね…♡

優しく撫でるように、全体を、しゅこ…しゅこ…♡

ああ…やっぱりこっちもお好きなようですね♡

今度は甘えるように私に擦りついてきて…気持ち良さそうなお顔をしています♡
では、このまま続けますね…♡しゅこ…しゅこ…しゅこ…♡

しゅこ…しゅこ…♡

…んふっ♡

ちゅこちゅこちゅこちゅこっ！♡

…しゅこ、しゅこ…♡

緩急つけられて責められるの、どうですか…？♡

頭真っ白になってきちゃいますよね…♡

ちゅこちゅこちゅこちゅこっ！♡

しゅこ、しゅこ…♡

んふふふふふっ♡

あああ…かわいいい…♡坊っちゃんまあ…かわいいですよお…♡

あらあらあら…♡

坊っちゃん、もう果ててしまいそうなのですね…♡

おちんちんの痙攣が止まりません…♡

ふふっ♡いいんですよ？♡いつでも出して下さいませ…♡

最後は、こうやって…！♡

全体を両手で抜き上げて、根元から亀頭のところまで、何度も何度も往復してさしあげますからね…♡

ほおら…しこしこしこしこっ！♡

いけっ、だせっ！♡

坊っちゃんまのドロドロの濃厚精子、たくさん出して下さいましっ！…♡

ああ…出ますね？♡出るんですね？♡

ナザリーのおてておまんこにいつぱいびゅーって中出ししちゃうんですね？♡

ああ…っ♡くる…♡くる…♡くるくるくるっ…っ♡

ダメになったこゆういおちんぽミルク、ナザリーのおててに、でちゃうっ…っ♡

(射精)

はあい♡びゅっ、びゅうっ♡どくっ、どびゅっ、びゅっびゅっ♡

ああ…ナザリーのおてておまんこに、こんなにも沢山っ…♡

ふふ…♡まだまだ出てますよ…？♡

ああ…坊っちゃんの精液…あつたかい…♡

私が把握している限りでは、坊っちゃんはまだ精通していません…♡

はじめてでこんなに濃厚な子種を吐き出せるなんて、やはり坊っちゃんは素敵ですね…♡

♡ナザリーは、惚れ直してしまいましたっ…♡

…ふふ、もちろんこんなに濃い精液、捨てるには勿体ないので、ぜんぶいただいてしまいますねえ…♡

(正面・やや密着・有声音囁き)

ん、ちゅ…じゅるるるっ…じゅず、じゅぞぞっ♡

…ん、ん…ん…んっ、んくっ、ごくっ…！♡

(正面・密着・有声音囁き)

ぷは…んふふ…ごちそうさまです、坊っちゃん♡

すっごく濃くて…臭いも素敵で…なかなか飲み込むのに苦労しましたが、その分とても美味しかったです…♡

よしよし…いい子いい子…♡

坊っちゃんま…ナザリーは、この上なく坊っちゃんまのことをお慕いしておりますよ…♡
ちゅっ…♡

(正面・中)

坊っちゃん、おはようございます。

本日は快晴。絶好の出港日和でございます。

ところで…その、昨晩はよく眠れましたでしょうか？

い、いえ、その…お屋敷のベッドとは違い、粗末なものだったので、よく眠られなかったのではないかと心配になりました…。

…そんなこと、ない？

いい夢が見られた…ですか？

それは…どんな夢でしょうか？

…おや？

坊っちゃん？

お顔が真っ赤でございますよ？

…ふふ♡

まあ、言いたくないのなら無理には聞きませんよ。

…おっと、船の出航まであまり時間がないことを忘れていました。急いで準備をしないと
いけませんね。

さあ坊っちゃん、お着替えをしますから、こちらへ来ていただけますか？

*

(船上にて)

(やや左・中)

…なんとか間に合って良かったですね。坊っちゃん。

おっと、ふふ、あまり甲板から身を乗り出しては危のうございますよ…？

ほら、揺れていますから、足元にも気をつけてください。

…ふふ、こんなに大きな船に乗るのは初めてで、ドキドキしますか？

…実は、私も心が昂っているのです。子供の頃に一回乗ったきりですから、懐かしいよう
な、でもドキドキするような…そんな、不思議な気分です。

…ほら、坊っちゃん。港があんなにも小さくなっていきますよ…？

もうしばらくしたら、陸も見えなくなってしまう。

随分遠いところに来てしまったと、そう思わずにはいられませんね…。

…あら？

(正面・近)

もしかして…泣いて、おられるのですか？

…坊っちゃん。客室へ戻って、少し休みましょう？

きつと疲れが出たんです…。

ほら、おぶって差し上げますから、背中に乗ってくださいませ。

大丈夫ですよ。何も怖くありませんからね…。

ん、しょっ…と。

(正面・間近・マイクに背中を向けて)

離れないよう、しっかりと掴まっついてくださいね…。

*

(客室にて)

(正面・中)

なるほど…そうですね…。

もう屋敷に戻れないと思うと、急に寂しくなって涙が溢れてしまったのですか。

ふふ、お気持ちわかりますよ。

ずっと住んでいた場所を離れるというのは、寂しいものですね。

たとえ嫌な場所であっても、そこは自分の居場所だったわけですから、それを手放すと

いうことは…やはり辛いものでしょう。

でも、安心してくださいませ、坊っちゃん。

(正面・近)

ナザリーは、坊っちゃん。の幸せを、安寧を、約束いたします。

この旅路の果てには、坊っちゃん。とナザリーの理想郷があるのです。

素敵な未来が待っているのですよ…？

だから、今は悲しまないで、前を向いてくださいませ…。

それでも悲しみが消えないというのであれば…ん、しょ…♡

(服をはだけさせる)

ナザリーの大きなおっぱいに、存分に甘えてください♡

あらあら、お顔が真っ赤…♡

ふふ、恥ずかしがり屋さんですね♡

ほらほら、見てるだけじゃなくて、触ってみてください♡

ん…♡はあ…そうです、じょうず…♡
どうですか？♡

柔らかくて、温かくて、良い匂いがして…♡

そして、坊っちゃんのお顔を容易に包み込んだじゃうくらいの大きさで…♡

乳首も…ほおら、少しだけぷっくりしてて、なんだかすごくエッチ…♡

んふ…♡素敵でしょう…？♡これは全て、坊っちゃんのもなんですよ…？♡

ほおら…こうやって、両手で下から持ち上げて…ゆっさゆっさと揺らしてあげれば…♡

ああ…♡目が離せなくなってしまうでしたね…？♡

そうです、それでいいですよ…♡

ナザリーのおっぱい、おっきなおっぱい♡

柔らかいおっぱい♡ムチュムチおっぱい♡

…うふふふ♡

さあ、触るだけで良いのですか？♡それだけでは物足りないのではないのでしょうか…？

♡

ナザリーには、分かりますよ…♡

坊っちゃんは今、おっぱいにお顔を突っ込んで、赤ちゃんみたいにこのぷっくり膨らんだ乳首をしゃぶりたいと思っっているはずですよ♡

もちろん、構いませんよ♡

好きなだけ、私のおっぱいに甘えてください…♡

(正面・やや密着)

ん…♡はい、どーぞ…♡

ナザリーの母性の象徴である、この大きな胸で、たくさん可愛がって差し上げます…♡
んっ…♡

(正面・密着)

はあい…いらっしやいませ…♡

ちゅっ…ちゅっ♡ちゅうちゅ…♡

おっぱいちゅうちゅうじょうずでちゅね♡いっぱい吸ってくださいちゅね♡

…ふふ、すっかり夢中でちゅね…？♡

いい子いい子…♡

ほらほら、もっと強く吸い付いていいのでちゅよ…？♡

ん、あんっ…！♡

ふふっ♡可愛いっ♡お顔を真っ赤にして…そんなに夢中になって…♡

んふふ…思わず、意地悪したくなっちゃいますね…♡

…ほら、坊っちゃん♡

ナザリーのおっぱいを、思いっきり抱きしめてくださいませ…♡

ぎゅ〜と力を込めて…♡

そう、そんな感じですよ…♡

んはあ…幸せですよ…♡

坊っちゃんを抱っこして、頭を撫でてお乳を吸わせていると、まるで坊っちゃんが本当に我が子になってしまったようで、幸せな気持ちになってしまいます…♡

…あら？

あらあら？

坊っちゃん…？

ナザリーのお腹に、なにか硬いものを擦り付けていますねえ？

ふふふ…これはなんでしょうか…？

もしかして、勃起、してしまっただんですか…？♡

…勃起とはなにか、ですか？

そうですね…。

おちんちんが、大きくなって硬くなること…ですかね。

…ほら、きちんと勃起できているか確認いたしますので、坊っちゃんのおちんちん、見せてください…♡

(ズボンを脱がす)

…あらあら、すごい♡

こんなにも元気いっばいで…♡

坊っちゃん…ご立派なおちんぽ勃起、かっこいいですよ♡

うふふ…女の人は、立派なおちんぽを見ると、かっこいいなあ、素敵だなあと思っちゃう生き物なのです。

もちろん、私もその一人ですよ…♡

だから、ほら…♡

ナザリーの胸に手を当ててください…♡

ドキドキしているのが、分かるでしょう？♡

坊っちゃんのおちんちんが立派でかっこいいから、ドキドキして、興奮しているのです…♡

さ、おっぱいをもっと吸って、おちんちんをナザリーのお腹にもっと擦り付けて…♡

ほら、ほらほら♡

いち、に、いち、に…♡へこへこ、へこへこ…♡

ふふ、かわいい♡お顔も蕩けきっていて…♡

とっつてもかわいらしいですよ…♡

さあ、もっと激しく腰を動かしていきましょうね〜♡
おっぱいちゅうちゅうも激しくしてください♡

一生懸命快樂を得ようと頑張るお姿♡

ふふ、健気で、愛おしいです♡

ん、ん、ん♡ああ♡

ふふ♡お顔も真っ赤つかですね♡

ほらほら、もっと強く抱きついて♡そうです♡その調子です♡

ナザリーはいつでも坊っちゃんまを受け止めてあげますよ♡

だから安心して、本能のままに欲望をぶつけてきてくださいませ♡

んふう！！♡はあはあはあ♡♡んんっ！！！！♡

坊っちゃんま♡坊っちゃんま♡好き♡♡大好き♡♡

ナザリーは嬉しゅうございます♡

坊っちゃんまが、ここまでナザリーを求めてくれるなんて♡

幸せ、幸せです♡坊っちゃんまがその劣情をナザリーにぶつけてくださることが、何よ

りも嬉しい♡

さあ、遠慮なさらず、腰をお振りくださいませ♡

ナザリーはそれを全て受け入れますから♡♡んふう♡

…へ？

どうしてそこまで自分に優しくしてくれるのか、ですか？

そんなこと、決まっているではありませんか。

ナザリーは、坊っちゃんまのことを心の底からお慕いしているからですよ♡

ナザリーにとって坊っちゃんまは全てであり、坊っちゃんまのためならばどんなことでもで

きるのです♡

坊っちゃんまの全てを受け入れて差し上げることが私の生きがいであり、喜びでもあるん

ですよ♡

…赤ちゃんの頃からずっと面倒を見てきた坊っちゃんまのことを、ナザリーは実の息子のよ

うに想っているんです♡

でも、坊っちゃんまは男の子ですから…いつかナザリーの元を離れて、どこかの誰かと結

婚して、新しい家庭を築いていくことになるんでしょう。

それはそれで、仕方ないことだとは分かっています。

だって、それが自然な流れというものなんです。

でも、やっぱり寂しくて、悲しかったんです…。

だから…こうやって甘えてくれるのが、とても嬉しくて、幸せなんです♡♡んふう♡♡

ん？ あふ…っ！♡

坊っちゃんま♡♡ああ、そんなに力強く抱きついて♡♡そんなに必死に腰を振りたくって

…♡

私から愛を囁かれるのが、そんなに嬉しかったのですか…？♡

んっ…！♡んんんんっ…！♡

はああ…♡坊っちゃんま、可愛いです…♡

ナザリーのおっぱいをしゃぶりながら、一生懸命腰を振って…♡そんなにナザリーのことが好きなんですね…♡

(正面・密着・有声音囁き)

良いですよ、坊っちゃんま…♡好きなだけ、ナザリーを求めてください…♡

ナザリーは坊っちゃんまだけのもの…坊っちゃんまだけの爆乳メイド…♡このおっぱいも、おしりも、おまんこも…ぜんぶゼーんぶ坊っちゃんまのものなんです…♡

お好きなように、お使いくださいませ…♡ほら、ほらほら♡もっと強く抱きしめて、おっぱいに顔を埋めて…♡そして、おちんちんを突き上げてください…♡

そうです♡そうです♡もっと激しく…♡

肉と肉をぶつけるように、パンツ♡パンツ♡と打ち付けていくのです…♡

ああ…素敵ですよ…♡坊っちゃんまがこんなにも情熱的に求めていると思うと、ナザリーも気持ちよくなってしまいます…♡

…うん？

おちんちんが、なにか変な感じがする、ですか…？♡

ああ…それなら大丈夫ですよ♡

射精が近いという合図ですから…♡

ほら、そのまま腰を動かして…♡ナザリーが全部受け止めてあげます…♡

なにか出る？ 出ちゃう？

おしっこじゃないものが出ちゃう…？

ふふ、分かりました♡いいですよ…♡出していいですからね…♡

ほらほらほらほら…♡

もっと速く動いて…♡おっぱいもたくさん吸っていいですから…♡

ナザリーのお腹におもらし、しましゅうね…♡

あっ…♡おちんちんが震えております♡もうすぐですね…♡

いいですよ…♡いっぱい出してください…♡

さあ…♡さあ…♡

どうぞ、ナザリーのお腹に向かって…その熱い愛情をぶちまけてくださいませ…♡

さあ…♡さあ…♡さあ…♡さあ…！♡

ナザリーも、坊っちゃんまへの愛情が溢れて、果ててしまえばそうです…♡

んっ…！♡ああっ…！♡んんんんっ…！♡ほおっ…♡あ、ああっ…♡

出して、ください…！♡

ナザリーに…！♡ぜんぶ、だしてえっ…！♡

(絶頂、射精)

~~~~♡

あはっ…♡どくんどくん…びゅーびゅー…♡

んっ…♡すごい勢いで出てきますねえ…♡

ああ…♡まだ止まらない…♡

んふふ…♡坊っちゃんまの愛情、たっくさん注がれていますよ…♡

坊っちゃんまのおちんぽミルク、おへそにびゅーびゅー当たって…ふふ、あったかいです

…♡

ほら、全部出し切るのです…へこへこ…びゅーびゅー…♡んんっ…♡はああ…♡

(正面・密着)

ふふ…♡ようやく終わりましたか…♡

あらあら…坊っちゃんま、そんなにぐったりとして…♡

ふふ、疲れちゃいましたか…♡

ならば、ナザリーのおひざ枕で、ゆっくり休んでください…♡

さあ、おいでください…♡

…どうですか、ナザリーの太ももは。

柔らかくて、温かくて、落ち着くでしょう。

…ふふ、気に入ってくれたみたいですね。

では、このまま寝てしまっても構いませんよ。

心地よい疲労感もあることでしょうか、じきに眠気が襲ってくるはずですよ♡

(正面・密着・有声音囁き)

…はあい、ゆっくりと瞼を閉じて…。

そう…良い子です…ふふ、本当に可愛らしい…！♡

坊っちゃんまの全てを愛しております。

ずっと一緒にいますからね…。

ずっとずっと…。

坊っちゃんまのおそばに…♡

そして、最後には…ふふ♡

坊っちゃんまの、赤ちゃんを…♡

…ふふ、いや、それはまだ気が早いかもですね…♡

(正面・中)

はあ…船に乗って、もう一ヶ月近くになりますね。

長旅になることは予想していましたが、まさかこんなに長い間船に乗ることになるとは…。

…でも、坊っちゃんとともにこうやって過ごす時間も悪くありませんね。

海を眺めながらのんびりお話ししたり、ボードゲームをして遊んだりするだけでも楽しいです。

でも…ふふ♡

(右・密着・有声音囁き)

一番はやはり…坊っちゃんとお肌を重ね合うことでしょうか…♡

(服を脱ぐ)

(正面・密着)

ほおら坊っちゃん…今日のおっぱいですよ♡

じょうずにちゅっちゅできるかな？♡

んふふ…上手です♡ちゃんとナザリーのおっぱいに吸い付いて♡

可愛い可愛い私の坊っちゃん…♡ナザリーは幸せ者です…♡愛する坊っちゃんに甘えられて…この時間が一番幸せを実感できます…♡

おっぱいにたっぷり母性を感じて…もっともっとおちんちんを固くしてくださいませ…♡

…ふふ♡

むくむくむく…♡びくん、びくん…♡

はあい、立派にお勃起出来ましたね♡えらいですよ♡

さあ、いつもはお手々でご奉仕するところですが…今日は特別に、このおっぱいで坊っちゃんのおちんちんをお包みして差し上げます…♡

ナザリーの大きなおっぱいで、このおちんちんをぎゅっつて挟んじゃうんですよ…♡

それじゃあ、始めましょうか…♡

ほおら、よく見てくださいね…♡

ああん…♡ナザリーのおっきなおっぱいと、坊っちゃんのおちんちんが…こんなにも近くに…♡

いきますよ…♡それっ…♡

(パイズリ開始)

ぱつくう〜ん…♡

うふふ…♡いかがですか？

ナザリーのおっぱいに、坊っちゃんのおちんちんが食べられちゃいました〜♡

汗でぬるぬるになって、すごく気持ちいいでしょう？♡

ほかほかの谷間の中に坊っちゃんのおちんちんがぜえんぶ包まれて♡

こーやって少しくちゅくちゅ〜っておっぱいを動かしてあげるだけで…あはっ♡

ビクビク跳ねて、気持ちよさそうですね♡ほおら、もっとな動かしてあげます…♡

もっとな強く♡もっとな激しく…♡

坊っちゃん大好きなおっぱいで、たくさんかわいがってさしあげましょうね…♡

ほおらほおらほおら…♡ずりゅん♡ずりゅん♡

ああん…♡すごい音…♡

っぱいを動かすたびに、ぐっちょんぐっちょん♡ってエッチな音が響いて…♡

それに、ほおら…♡ぱんっ♡ぱんっ♡って、腰を打ち付けるような、肉と肉がぶつかる

音がして…はあ♡まるで坊っちゃんまよエッチしてるみたいです…♡

ああん…♡坊っちゃん、そんなに必死にナザリーにしがみついて…♡ナザリーも興奮し

てしまいます…♡

ほらほらほら…♡

おっぱいえっち、気持ちいいですか…？♡

坊っちゃんのかわいいお顔が真っ赤っかです…♡

おっぱいえっちに夢中なのですね♡

ナザリーも…んっ♡そんな坊っちゃんを見てると、乳首が疼いてしまいます…♡

見てください…充血しておっきくなったナザリーのお乳首…♡

もうピンッピンに勃起しています…♡

さあ、坊っちゃん♡

今度は自分でおっぱいを掴んで、腰を打ち付けてください…♡

そうです…♡ナザリーのおっぱいを、まるで道具みたいに無茶苦茶に扱ってくださいま

せ…♡

さあ、そのまま、お胸からゆっくりとおちんぽを引き抜いて…♡

はい、よくできました…♡

そして、一気にナザリーの胸に向かって、おちんぽを突き刺すのです…♡

さあ、ナザリーのおっぱいを、犯してください…♡

坊っちゃんの本気ピストンで、おっぱいをめちゃくちゃにしてください…♡

ああ…！♡素敵です…！♡かっこいい、かっこいいですよ、坊っちゃん…！♡

あん…♡坊っちゃんのおちんちんが、ナザリーのお胸に突き刺さっております…！♡



こひよはえきはつふひほへろへ、ほっひやまほひふひ、はへひゃふっへはへはふ…♡  
(訳この唾液たっぷりペロで、坊っちゃんのお乳首、舐めしゃぶってあげます…♡)

ああむっ！♡

(激しい乳首舐め、喘ぎ声混じり30秒)

(正面・密着)

ん…♡ちゅぽんッ！♡

うふふ…♡

腰がガクついてますね♡そろそろ限界ですか？♡

それじゃあ、ラストスパートです…♡

耳元で、囁いてあげますから…

坊っちゃんもお好きな時に、ナザリーのお胸の中で射精してくださいませ…♡

ナザリーはいつでも、坊っちゃんあつうい精液を受け止めて差し上げます…♡

(正面・密着・有声音囁き)

イケ…♡イケっ♡

…♡  
おっぱいえっちで、ナザリーの爆乳おっぱいに、情けなくミルクびゅっびゅしちやえ

イケ…♡おっぱいえっちに屈服しろ…♡

ナザリーにお乳首いじめられて、おっぱいに中出ししちやえ…♡

孕めっ、妊娠しろっつて、おっぱいに力強い種付けしてくださいませ…♡

気持ちいい気持ちいい気持ちいい、気持ちいいしか考えられない、バカになるくらい気持ちいい、おっぱい大好き、おっぱいに負けちゃった、おっぱいに負けるの気持ちいい、

おっぱいで気持ちよくなるの気持ちいい、おっぱいでイクの気持ちいい、おっぱい好き、おっぱい最高、おっぱい幸せ、おっぱい、おっぱい、おっぱい…♡

いく、いくいくいくいくっ♡

でちゃうっ、お精子でちゃううう…！♡

ナザリー、だいすきい…っ！♡

(射精)

(正面・密着)

はあい♡

びゅっびゅっ♡どびゅっ！♡どくんっ、どくんっ…！♡

ああん…♡お胸の中が、坊っちゃんまの熱いミルクで満たされております…♡  
すごい勢い…♡かっこいいですよ…♡  
ナザリーも、坊っちゃんまのことが大好きでございます…♡んふふ…♡  
ちゅっ♡

(デープキス15秒)

ふふ、全部出ましたか？♡  
それならよかったです…♡  
あらら…坊っちゃんまのお顔、とっても気持ちよさそうな表情をしています…♡  
それなら、もう少しこのままでいきましょうか…？♡  
おっぱいベッドでおちんちんを包みこんで、ゆっくり小刻みに、甘やかしパイズリ…♡  
お疲れになった身体に、甘い快楽を刻み込んでさしあげます…♡  
さあ…♡お休みなさい、坊っちゃんま…♡  
お昼寝の時間ですよ…♡  
お眠りになるまで、ずーっとおっぱいを揺らして、寝かしつけてさしあげますね…♡  
だから安心して、おっぱいゆりかごでゆっくりとお休みください…♡

(小さく射精)

…うふ♡可愛いお返事ですね♡  
はあい、そのままおねんねしましょうね♡  
ああ…♡かわいい…♡とろけたお顔…♡とっても素敵です…♡  
…ふふふ、おやすみなさい、かわいいかわいい、私の坊っちゃん…♡

(正面・中)

坊っちゃん、見えますか？

あれが私たちの目的地：ゲヘナ島です。

長い船旅でした。

ようやく、理想郷に辿り着けますね…。

さあ、身支度をしましょう。あの島で降りるのは私たちぐらいですから、すぐに出港してしまいますよ。

…うん？

理想郷について、知りたいのですか？

ふふ、何度も言っただでしょう？

それは着いてからのお楽しみです。

さあ、早く準備をしてください。時間がありませんよ？

\*

んーっ…！

やっと着きました…！

久々の陸地で、足元がふわふわしますね。

さあ、行きましょう。

理想郷はあの大きな山を超えた先にあります。

そこで私たちは共に幸せに暮らすのです…！

…ふふ、本当にそんなものがあるのか、疑問に思っているようなお顔ですね。

確かにここは船着場以外何も無い辺鄙な場所です。

見渡す限り人工物はなく、自然がそのままの形で残っています。

ですがあの山の裏には、恋人たちの街があるのです…！

愛し合う者たちは皆そこに集まり、幸せな毎日を過ごしているのです！

そう、まさしくナザリーと坊っちゃんのように！

うふ♡

さあ…もうすぐ日が落ちてしまいます。

急ぎましょう、坊っちゃん…♡

\*

すっかり日も暮れてしまいました。ようやく着きました…！

ここが、理想郷…恋人の街、ラストです♡

…何の変哲もない、ただの街に見える？

そうでしょうね…何も知らなければ、普通の街に見えるでしょう。  
さ、共に街の中央へ向かいましょう。  
そこにある教会で、坊っちゃんまはきつと、この街に来たことを幸せに思うはずですよ？  
ふふふふ…♡

\*

さあ、着きました。

ここがラスト唯一の教会です。

どうですか？ 素敵な建物でしょう？

愛し合う者たちが集う聖地…それがこの教会なのです。

さ、早く中に入りましょう。

(扉の開く音)

(右・やや密着)

坊っちゃんま、見えますか？

あちらに、祭壇が見えるでしょう？♡

そしてその手前に、小さな二本の小瓶が置かれていますよね？

ふふ…♡あの中には、聖水が入っているんですよ…♡

あれをお互いに一本ずつ飲み干せば、未来永劫離れることなく、永遠に結ばれ続けると  
いう言い伝えがあるんですよ…♡

さあ坊っちゃんま、こちらへ…♡

(正面・やや密着)

まず、私が飲んでみせます…♡

んくっ、んくっ…ああ…♡

喉を抜ける感覚だけで、幸せを感じます…♡

ほら、坊っちゃんまも…♡

私と永遠の契りを交わしてくださいませ…♡

大丈夫、怖くなんてありません…♡

あまあくて、とーってもおいしいですよ…♡

(正面・密着・有声音囁き)

どうしても怖いというのなら、口移しで飲ませて差し上げますね…♡

坊っちゃんま…♡私の唾液と混ざった、甘くて美味しい聖水を、味あわせてあげます…♡

(ディープリキス15秒)

ぷはっ、はーっ、はーっ…♡

(正面・近)

坊っちゃん…♡

身体が、熱くはありませんか…？♡

ふふ、どうやら効き目は抜群のようですね…♡

おちんちん、どんどん大きくなってますよ…♡

ふふ…♡それじゃあ、始めましょうか…♡

これから、ナザリーと坊っちゃんまは、ここで愛を誓い合おうんです…♡  
わかりますか？

セックスです…♡

ナザリーのぬるぬるおまんこに、坊っちゃんのおちんぽを挿入して、たっくさん精液を  
注いでもらうんです…♡

ああ…♡考えただけでも濡れてきちゃいました…♡

坊っちゃんも、もう我慢できませんよ…♡

いいですよ…♡ナザリーも待ちきれないので、今すぐにも…♡

ほら、坊っちゃん…見てください♡

ぽたぽたと、ナザリーのお股から蜜が垂れ落ちていきます…♡

申し訳ありません…こんなに濡らして、はしたない女だと思いでしょ…♡

…違う？

すごく、えっち？♡

ふふ、嬉しいです…♡

坊っちゃん興奮してくれていると思うと、ナザリーはそれだけでイってしまってます…♡  
…♡

んっ…♡坊っちゃんの熱い視線が、ナザリーのおまんこに刺さっています…♡

よく見てください…♡これがナザリーの雌壺です…♡

坊っちゃんに犯されることを期待している、淫乱な雌穴です…♡

ふふ…♡そんなにじっくり見られたら、恥ずかしいです…♡

でも、見られれば見られるほど、どんどん溢れてきて…あっ  
くう…!!♡

(軽く絶頂)

はあっ、はあっ…！♡  
ぴゅっ♡って軽くお潮を吹いてしまいました…♡  
坊っちゃんまのせいですよ…♡坊っちゃんまが、そんなにえっちな目で見るから…♡  
だから、責任をとってください…♡

(右・密着・有声音囁き)

ねえ、坊っちゃんま…？♡お願いします…♡  
えっち、えっちしましょ♡  
おちんちんで、ナザリーを犯して…♡  
一緒に、いっぱい気持ち良くなりたいです…♡

(正面・密着)

さ、おちんぽをナザリーのおまんこにあてがって…？♡  
あらあら…ふふ、そこは違う穴ですよ♡  
もう少し下…そうです…あとは、そのまま腰を前に突き出すだけ…♡  
そうです、上手です…♡  
んんんっ！♡

(徐々に挿入)

そうやって、ゆっくりナザリーの中に沈めていくんです…♡  
んっ…！♡はあ…！♡はいつて、きたあ…！♡  
すごおい…！♡坊っちゃんまのが、奥まで届いてます…！♡  
ああ…♡これえ…！♡ずっと、欲しかったんです…！♡  
坊っちゃんまのおちんぽっ、あつたかいつ、かたいつ、気持ちいい…っ！♡  
はーっ、はーっ…すき、だいしゅき…♡  
ふふ…♡どうですか？♡  
初めてのセックス、童貞卒業の感想は？♡  
ふふ、聞くまでもありませんね♡  
だって、ほら…♡もう、射精しそうな顔をしていますもの…♡  
入れただけで射精なんてだーめ、ですよ？♡  
いくらナザリーのおまんこがぬるぬるで、ヒダヒダが絡みついてきて、坊っちゃんまのおちんぽミルク欲しいよおっって搾り取ろうとしてきても、まだダメです…♡  
ほら、頑張って耐えて、腰振って…？♡

(ゆっくりピストン開始)

んっ、んっ…♡そう、その調子です…♡  
んんっ…♡いいですよ、その表情…♡  
歯を食いしばって、懇願するような目でナザリーを見つめて…♡  
ふふ…可愛いですね…♡

(正面・密着・有声音囁き)

だからこそ、意地悪したくなっちゃいます♡  
ほら、こうして…前後に腰をゆさゆさと揺ると…♡

(射精)

(正面・密着)

あーあ、おちんぽミルク漏れちゃったあ…♡  
ナザリーのおまんこにお漏らし射精…♡情けないですね…♡  
かっこわるいですよ…♡ふふ…♡  
ああ、そんな顔しないでください…♡  
大丈夫です…ナザリーがチャーンと受け止めてあげますからね…♡  
はあ、かわいい…♡  
泣きそうなお顔が、たまらなくそそります…♡もっといじめたくなっちゃう…♡  
でも、これ以上いじめると、さすがに可哀想ですね…♡  
…坊っちゃま。出し切りしましたか？♡  
ええ、では仕切り直しです。もう出せない、なんてことはありませんよね？♡  
それじゃあ…今度はナザリーの声に合わせて腰を振ってみてください♡  
おまんこによわあい坊っちゃまのために、ナザリーがセックスのレクチャーをして差し  
上げます♡

まず、最初はゆっくりした動きからです。ナザリーの声に合わせて腰を振ってください♡

いち、でおちんぽを挿し込んで、に、で引き抜くのですよ？♡分かりましたか？♡  
はい、それじゃあ行きますよ…♡  
いーち、にっ♡いーち、にっ♡  
挿入する時はゆっくりと、引き抜く時は素早く♡  
はい、もう一度…♡いーち、にっ♡  
お上手ですよ…♡その調子です♡  
いーち、にっ♡いーち、にっ♡  
さあ、このペースを保ったまま、続けましょうね…♡

(吐息に時折喘ぎ声を交えて15秒)

ああ、気持ちいいです、坊っちゃんま…♡  
ナザリーのなか、ほぐされていきます…♡

坊っちゃんのおちんちんの形になって、ぴったりと吸い付いて離れません…♡

ふふ、嬉しいです…♡ナザリーの身体が、まるで坊っちゃんのものになったみたいで

…♡ああ…幸せです…♡

…ねえ、坊っちゃんま？♡

もう少しだけ早く、動けますか…？♡

卑しいメイドのナザリーは、坊っちゃんのおちんぽ様に、もっともつとご奉仕したいのです…♡

もちろん、お嫌なら無理強いはいたしません…どうかお願いします♡

さあ…いきますよ…♡

いち、にっ、いち、にっ！♡いち、にっ、いち、にっ！♡

あっ、あっ、あっ！♡すごっ、すごいっ！♡

よく我慢できていますね♡偉いですよっ♡

坊っちゃんま♡がんばれっ♡がんばれっ♡

えっちがじょーずっ♡えっちがじょーずっ♡

ふふふふ…！♡

さっ、坊っちゃんま…！♡

きす、キスをいたしましょうっ…！♡んっ！♡

(ディープキス15秒)

ぷはっ…！♡

坊っちゃんま…♡

坊っちゃんま…なざりーは、ナザリーは坊っちゃんのお嫁さんになりたいですう…！♡

手を、手を絡ませてはいけませんか…！♡

恋人つなぎ、してもいいですか…！♡

ああ…ありがとうございます…！♡

これで、ずっと一緒ですね…♡

はっ、はっ、はあ…！♡ああ…♡お腹の奥がきゅんきゅん疼いて、おかしくなりそうで

す…！♡

ふふ…ナザリーは、もうイってしまいそうです…♡

一緒に、果てましょうね…♡愛し合いながら…共に果てるのです…♡

(右・密着・有声音囁き)

さあ、坊っちゃんま…♡

最後はナザリーを抱きしめて、激しく突き上げて…♡

ナザリーのおまんこに、いっぱい射精してください…♡

…んオツ♡おっ、おっ、おっ、おっ、おっ、おっ、おっ！♡

申し訳っ、ありませんっ…！♡下品な、声がっ…おほっ、んおっ、おっ！♡

出て、しましますっ…んぬ、ほおお！！♡

獣のようなッ、こんな声が、出てしまうほどに…オオオッ！♡

ナザリーもっ、限界なんですっ…おッ、おっ、おっ、ぬほおお…！！♡

だからっ、だからあっ…！！♡きてっ、来てくださいつ…！！♡ナザリーを、孕ませるつもりでえっ…♡

ナザリーの中に、精液を、どうか…！！♡

(汚喘ぎ15秒)

ああっ、おちんぽが、膨らんでえ…♡

ああ、くるっ、くるっ、くるっ、くるっ…♡

射精、されるのですね…？♡

いいですよ、出して下しやい…♡

ナザリーの、ナザリーのなかに、全部注いでくだしやいい…♡

あんっ、んオツ、オツ、おっ、おっ、おっ…！！♡

イク、イキます、イッちゃいます…♡

坊っちゃんまっ…お願いします…共に、共にいいっ…！！♡

いくっ、んっ、んほおお…！！♡

(絶頂、射精)

あ…！！♡

で、でてる、でていますっ…♡

坊っちゃんまの熱いせーえきが、びゅーって、ナザリーのおまんこを満たしています

…！！♡

(正面・密着)

ああ…なんと力強い脈打ちでしょう…♡

坊っちゃんま…本気でナザリーを、愛してくださっているのですね…♡

(ディープキス10秒)

ああ…ああ…幸せです…♡

んっ、あっ…♡ぬいて、しまわれるのですか…??♡

だ、だめですっ…♡

ナザリーは、寂しゅうございます…まだ、もっとこのまま、繋がってみたいです…♡

ナザリーを、放さないでくださいまし…♡

んっ…ああ…ありがとうございます…♡

ふふ…♡ふふふ…♡ああ、坊っちゃん…♡

好き、大好き…♡ずっと、永遠に、坊っちゃんを愛しておりますよ…ちゅっ♡

(正面・中)

坊ちゃま、この街での生活にはもう慣れましたか？

ふふ、まだ慣れない、ですか。

それも当然かもしれませんね…。

(右・密着・有声音囁き)

街ゆく女性は皆魅力的な肉体を持っていて、夜になると街中の至る所から喘ぎ声が聞こえてくる…♡

料理はとても美味しくって、ベッドはふかふか…♡

生活に不自由はないけれど、ナザリーを見るといつだろうとどこであろうと、ムラムラしてセックスしたくてしようがなくなる…♡

不思議ですよ…この街は何かがおかしいと、そう思いなのでしょう？

でも大丈夫です…安心してください…♡

坊っちゃまにとつては何もかもが狂っていても、ここは素敵なところですよ…♡

それに、何よりも大事なのは…ナザリーがいることです…♡

ナザリーがいれば、どこであろうと幸せでしょう？

それとも、ムラムラしてナザリーとセックスするの、嫌になってしまわれたのですか？

♡

もちろん、そんなこと、ありませんよね…♡

現に坊っちゃまは、今も…その可愛らしいおちんぽを硬く勃起させていらっしやるので

すもの…♡

ふふ…いいんですよ…♡

したいこと、してほしいこと、その全てをナザリーが叶えて差し上げます…♡

さあ、坊っちゃま…こちらへどうぞ…♡

(正面・近)

ナザリーのおまんこを、よおくご覧になられてください…♡

ほおら…もうこんなに濡れて…♡

坊っちゃまのおちんぽを求めてヨダレを垂らしております♡

まったく、スケベなメイドですね…♡

ほおら、見て下さいませ…♡

ナザリーの指が、おまんこに飲み込まれていきますよ…♡

一本、二本…三本…♡んっ、ふう…♡

あっという間に…ほおら、どんどん入っていく…♡

ああん♡物足りません…♡

早く坊っちゃまのおちんちんを挿れていただきたいです…♡

ほおら、ナザリーのはしたないオナニーショーを見てください…！♡  
ぐちよぐちよと音が鳴っております…♡  
すごい音ですねえ…♡

それに愛液も大量に飛び散らして、まるでお漏らしをしているみたい…♡  
恥ずかしいです…♡ ほらほら、こうやって奥まで入れてえ…♡入り口の方ギリギリまで  
抜いて、また一気に突き入れるんです…♡

はあっ、はあっ、はあっ♡ちんぽお、おちんぽお…♡欲しい、欲しいです、坊っちゃん  
の硬くて素敵なおちんぽが、欲しくてたまらないんです…♡

(喘ぎ10秒)

(正面・やや密着)

坊っちゃんま…♡いつまで見ているつもりなのでしょう…？♡

ナザリーは、もう我慢できなくなりました…♡

この身体に流れる血が、坊っちゃんまを求めて仕方ないのです…♡

今宵は満月…女が最も孕みやすい日です…♡

ナザリーはもうすっかり、坊っちゃんまの赤ちゃんを孕む準備ができてしまいました…♡

だからどうかお願いします…♡どうかナザリーの中に、坊っちゃんまの子種汁をお恵みく  
ださい…♡

(正面・密着・有声音囁き)

孕ませて…孕ませてください…♡

坊っちゃんま…坊っちゃんま…！♡

どうかお願いします…！♡

どうか、どうかどうかどうか…！♡

あっ…♡んくう…ッ♡

(挿入)

(正面・密着)

はあ…きたあ…♡

んっ、ああ…！♡あああああ…ッ！♡

幸せ…幸せです…♡坊っちゃんま…♡私を、ナザリーを孕ませてくださるのですね…♡

嬉しい…！♡嬉しゅうございます…！♡

(少し早めピストン開始)

んっ、んっ、んっ!!♡

んおっ、おっ、おおっ、おおっ!!♡んほっ、んおっ、んひいいっ!!♡  
しゅごいつ、いつもよりっ…んっ、んっッ!!♡

快感、強いっ…!!♡

坊っちやまのらぶらぶピストンっ、気持ち良すぎてえっ♡

一突きごとに、孕めっ、孕めって思いがあっ♡

伝わって、くるうう…あああっ♡

坊っちやまあ…もっど激しく突いて、ナザリーを愛して下さいましっ…!!♡

もっど、もっどもっどもっどもおお…!!♡

もっど深くっ、もっど強くっ、愛してっ、愛して下しやいい…!!♡

(汚喘ぎ 20秒)

あああ、だめだめだめだめえっ…!!♡

坊っちやまのメイドであるナザリーが、先にイクなんてダメなのに…♡

でも無理、耐えられないっ♡

イク、イツちゃいます、イキますっ…♡ごめんなさいっ、坊っちやまあ…♡

どうか、お許してください…♡

あっ、あっ、あっ、あああっ…!!♡

(絶頂)

~~~~っ!!♡

んオッ…♡おっ…♡おほお…♡おおお…♡

申し訳…っ、ありません…♡

坊っちやまよりも、先に達してしまうだなんて…♡

本当に情けない、淫乱なメスで…おほお…♡

で、ですが、坊っちやまもいけないのですよ…??♡

あんなにも激しい、愛情を込めたピストンをされてしまえば、女であれば誰だって簡単

に、果てて、果ててしまうものです…♡

ふうー…はあ…♡

さあ、もう一度、今度はナザリーからも腰を振りますから…♡

二人で一緒に、気持ちよくなりましょうね…♡

ほら…呼吸を合わせて…♡

せえの…!!♡

(ゆっくりピストン開始)

ふふふふふ…♡そうです、その調子です…♡

ゆっくり…いち、に…さん、し…♡

はああ♡これイイです…♡

坊っちゃんとお息を合わせて、お互いのペースを合わせてセックスするの…すごく好き…♡

あつ、あつあつ、あつ♡

んっ、んんっ、んんっ♡はああ♡

きもちいい、きもちいい…♡ナザリーのオマンコが、坊っちゃんのおちんちんを包み込んで、離そうとしません…♡

おまんこ全体で、坊っちゃんを感じています…♡

ああ…♡こんなことを思うのは、はしたないことかもしれませんが…♡

このままずっと、永遠に繋がっていたいです…♡

いつまでもこうして、坊っちゃんを感じていたい…♡

ねえ、坊っちゃんはどうですか…?♡

ナザリーと同じ気持ちになってくれていてるでしょうか…?♡

ずっと、ナザリーとずっと、一緒にいたいのですか…?♡

ナザリーと永遠に交わっていられるなら、それはとても素敵なことだと思いますか…?♡

…?♡

ねえ?♡坊っちゃん…?♡

…ふふ♡そうですか♡

ありがとうございます…♡

そのお言葉、忘れないでくださいね?♡

坊っちゃん…キスしてください♡

私と、ナザリーと永遠を誓うための、熱い接吻を…♡

(ディープキス15秒)

んっ、ちゅぷ…れる…じゅるるる…♡

ぷは、はあ、はあ…♡

(ピストン一時停止)

(正面・近)

ッ…ああ…♡

やって、しまいました…！

とうとう…私は…なんてことを…。

…坊っちゃん。

ご自分のお腹を、ご覧になってください…。

何か、模様が浮かんできているでしょう…？

それは、私と坊っちゃんとの愛の象徴…契約紋でございます…。

いきなりそんなものが浮かんで来たことにびっくりしているようですね…

では、全てを説明させていただきましょう…。

まずは、私の正体から…。

…私は、いわゆるサキュバスという種族なのです。

ご存知ですか？

サキュバスとは、そのいやらしい身体や振る舞いをもって、男性の精気を吸い取る魔物です…。

今まで自分を偽っていたことをまずは謝罪させてください…申し訳ございませんでした。…ですが、私はそのようなサキュバスの本能を嫌っておりまして…憎んですらいいたのです。無遠慮に男を抱くような淫らな存在にはなりたくない…清楚でありたいと願っております…。

そのため、自分を偽り、普通の人間…ナザリーとして生きてきたのです。

メイドとして坊っちゃんのお傍に仕える日々はとても幸せでした。

ご存知の通り、私は坊っちゃんが生まれたその日から今に至るまでずっと坊っちゃんのお世話をしております…。

毎日すくすくと成長していく坊っちゃんを見て、私は性欲とは最もかけ離れた感情を抱いていました。

それは…母性です。

もっと可愛がりたい、甘やかしたい…坊っちゃんが幸せであれば私も幸せだと、そう強く感じるようになったのです。

…だからこそ、あの時の坊っちゃんのお姿は酷くナザリーの心を揺さぶりました…。

私の大好きな坊っちゃんが、虐められている。

それも、よりにもよって私が主人として仕えている旦那様にです！

辛そうで、苦しそうで…寂しそうな表情をしている坊っちゃんを見てしまった時…ナザリーはどうしても坊っちゃんを救って差し上げたいと強く思ったのです。

ですが…一介のメイド如きが主人に歯向かうことなど許されません。解雇されて、路頭に迷ってしまうだけでしょうか…。

だからナザリーはその衝動を抑え込み、見て見ぬ振りをしようと思いました…しかし、あの時の坊っちゃんの言葉を聞いて、最後の一线を踏み越える決意をしました。

『助けて』と、その一言を聞いた瞬間…ナザリーはあることを思い出しました。

西の果てにある、とある島にはサキュバスとその婿が住む街がある…。

私の母から小さい頃に聞かされたその話を、ナザリーは思い出したのです。

そこに住むサキュバスは、自分が気に入ったたった一人の男性のみを生涯愛するのだとか…。

坊っちゃんを助けるためには、もうそこに行くしかない。

それは、私が人間としてではなくサキュバスとして生きることを意味していました。

それでも構わなかった。坊っちゃんさえ無事であればそれでいい…そう思っ、ナザリーは坊っちゃんを連れてこの街へと向かいました。

ラスト…色慾と最後を意味する、この街へ…。

ですが、この街を包む瘴気は私を変えてしまいました。

この街へ近づくにつれ、私の中のサキュバスの本能はどんどん強まってい、やがて理性を塗りつぶしてしまつたのです…。

そして、この島への永住を誓う儀式…あの教会で聖水を共に飲み干した瞬間に、私は坊っちゃんをもう母性だけでは見られなくなつた…。

逃れられない性欲と母性が入り交じり、ナザリーは坊っちゃんを自分だけのものにしたいと、心の底からそう願つてしまつたのです…♡

…そして、サキュバスの本能が最も強まるこの満月の日が来てしまつた…。

ナザリーは完全にサキュバスの本能に押しつぶされ、抑えきれないほどの欲望に突き動かされるまま、坊っちゃんを求めてしまつたのです…。

…その契約紋は、番の証。ナザリーと坊っちゃんが永遠の愛を誓い合つたことを証明する印でございます…。

そして、坊っちゃんの命とナザリーの命が強く結びついた証でもあるのです…。

サキュバスは人間に比べるとかなり長生きです。

おおよそ千年は生きるサキュバスと共に生きられるように、同じ時間を歩めるように…契約紋は、坊っちゃんの寿命を引き伸ばしました…。

簡潔に言うと、私は坊っちゃんを人ではない存在にしてしまつたのです。

…自分がどれだけ罪深いことをしてしまつたのかはわかつています…。

これでは、坊っちゃんを救おうとして人生そのものを奪つてしまつたようなものです…。

…全ては私の不徳の致すところ…。

本当に…申し訳ございません…。

ですが、どうか…お願いします…。

罰ならいくらでも受けます。どんな償いもさせていただきます。

だから…どうか、どうか私を嫌いにならないでください…！

…坊っちゃんに嫌われてしまつたら…私は…私は…！

んううっ！♡

(ピストン開始)

(正面・密着)

坊っちゃんああ…♡

この、優しい腰遣い…♡

お許し、くださるのですね…？♡

こんなにも酷い仕打ちをした私を…許してくださいさるのですね…？♡

ああ♡嬉しいです♡愛しています♡愛しております♡坊っちゃん♡坊っちゃんああ…♡

(ディープキス15秒)

んちゅ…れろお…じゆるるるる…ぷは…♡

ずっと、ずっとご奉仕いたします♡

一生をかけて坊っちゃんを愛し続けます♡

子供も沢山育てます♡

坊っちゃんのために精一杯尽くします♡

坊っちゃん望みは全て叶えます♡

セックスもっ、パイズリもっ、いつでもいたします♡

ナザリーのおっぱいも、お尻も、おまんこもっ、ゼーんぶ坊っちゃんのもです♡

ナザリーはっ、坊っちゃんのためだけに生きてまいります♡

永遠に、いつまでも、貴方様のお傍に…♡

んぐ、ぢゅ、んふ、ぢゅう…♡

坊っちゃん…可愛くて優しい、私だけの坊っちゃん…♡

子種を、ください…♡

ナザリーの子宮に直接、濃厚な精液をお恵みくださいませ…♡

ナザリーを、孕ませてください…坊っちゃん…♡

あっ、あんっ、ああ、ひゃああ…！♡激しい…！♡

激しすぎます…！♡

そんなに激しくされたら壊れちゃいます…！♡

ナザリーはもうとつくにつ、坊っちゃんのもですから♡

んうううっ！♡

これ以上、坊っちゃんも膚になっちゃったら…っ！♡

ナザリーは、四六時中坊っちゃんを求めてしまいます…！♡一日中坊っちゃんを貪って

しまいます…！♡

ほかの女を見ていたら嫉妬してしまいます♡

他の女に欲情したら発狂してしまいます…♡

これ以上淫らで卑しいメスにしないでくださいませっ♡
んぐううっ…!!♡

(絶頂)

はへえ…♡も、申し訳ありません…い、イキました…♡
イッてしまいました…♡気持ちよすぎて頭が真っ白になりました…♡
幸せです…♡

坊っちゃんのもので貫かれるの、たまりません…♡
もっ…♡もっともっ…♡抱いて…♡

身体がひとつになるくらい、強く抱きしめて…♡

ナザリーを、離さないで…♡

ナザリーはもう坊っちゃんなしじゃ生きられないんです…♡

坊っちゃんも赤ちゃんが欲しいです…♡

ナザリーを、坊っちゃんのお嫁さんにして欲しいです…♡

ください…♡たまたまの中に入ってるの全部出し切ってください…♡

ナザリーの中に、いっぱい注いでください…♡

ナザリーのことだけ考えながら、一番奥まで挿入れて…中に出して…ください…♡

ん、ほおおおおお…♡

ああ…間抜けな声が、漏れてしまいました…♡坊っちゃんのおちんぽが、ナザリーの中
でビクビクって震えてるのが伝わってきて…♡

出してしまうのですね…?♡

ナザリーの中で、射精してしまうのですね…?♡どうぞ、遠慮なさらずに…♡

ナザリーの中に、たくさん種付けしてください…♡

ああっ♡出して、ください…!!♡

(正面・密着・有声音囁き)

孕ませて…孕ませて孕ませて孕ませて孕ませてえ…♡

赤ちゃん欲しい…♡

坊っちゃんの子供を孕みたい…♡

だからお願いです…ナザリーを妊娠させてください…孕ませてください…♡

坊っちゃんも赤ちゃん授かりたくて仕方がないメスマンここに、子種ふちまけてください

…♡

出してください…ぜんぶ…ぜんぶ、ください…♡

坊っちゃんも…愛を、愛を注ぎ込んでください…!!♡

(射精)

はううッ…♡出てる…♡すごい勢いで、精液が流れ込んでくるの感じます…♡あ、
熱い…♡

子宮、焼けちゃいそう…♡

どくん、どくんって脈打ってるのがわかる…♡

これ、絶対受精してます…♡分かりますよ…♡

こんなに熱くて元気な精液出されたら、孕まないわけないです…♡

坊っちゃま…♡愛していますよ…♡

大好き…♡ずっと、ズーっと一緒にすよ…♡

んっ…ちゅっ…♡

(ディープキス 20秒)

(フェードアウト)

(数時間後)

(正面・密着)

んぐっ、はあっ、はあっ…♡

坊っちゃまっ、まだできますよねっ？♡

私はまだまだ満足しておりますせんっ♡

もっつ、もっつと愛し合いたいですっ♡

ナザリーのおまんこには飽きてしまいましたか？♡

それならおっぱいでも、お口でも、お好きなように…♡

その…少し恥ずかしいですが…おしりの穴も、坊っちゃまであればお使いいただけます
いません…♡

さあ…犯してくださいませ♡

どうかこの淫乱でド変態なナザリーを、坊っちゃまの精で汚し尽くしてください…♡

あっ…♡きたっ…♡おちんちん、また硬くなってる…♡

嬉しい…♡嬉しいです…♡

さあ…また、愛し合いましょ…！♡

(汚喘ぎ 25秒)

(射精)